

研究実施のお知らせ

2024年6月1日 ver.1.0

研究課題名

島根大学病院における呼吸器疾患患者のステロイド使用によるせん妄発症についての後方視的調査

研究の対象となる方

2018年1月から2024年5月の間に呼吸器・化学療法内科に入院した方

研究の目的・意義

呼吸器疾患には治療薬としてステロイドを使用することが多くあります。高用量のステロイドを投与すると、1～2週間以内に精神症状が現れることがあります。一般病棟に入院している患者のうち、ステロイドパルス療法（大量のステロイド投与）によってせん妄を発症した人の割合は2.3%であることが報告されています。しかし、呼吸器疾患で緊急入院した患者さんで、ステロイドを用いた治療を行った患者のうち、せん妄を発症した患者さんの割合に関する報告はありません。

また、肺癌治療においては、癌悪液質を有する患者さんにおいて、食事摂取の改善を期待してステロイドを投与することが多くあります。しかし、このステロイド投与が終末期の精神症状に与える影響に関する報告はありません。

このような背景から当院においてステロイドを投与した呼吸器疾患患者さんのせん妄発症リスクを検討する研究を計画しました。この研究はステロイドの適正使用につながると考えています。

研究の方法

1) 研究実施期間

2024年7月（研究許可後）から2027年3月31日

2) 研究方法

ステロイド投与の有無に加え、せん妄発症のリスクとなりえる患者さんの背景とせん妄発症の関係に関して統計解析を行います。

3) 使用する情報

研究対象者のカルテから次のデータを収集します。せん妄発症の定義は、ステロイ

ド投与開始後、退院までにせん妄または不穏状態と診断された場合に「あり」とします。

- 1) 入院時の年齢、性別
- 2) 入院日、退院日
- 3) せん妄・不穏状態発症の有無、発症日、転帰
- 4) 入院の契機となった疾患名、転帰
- 5) 入院時の酸素投与方法・量
- 6) 入院時の体重
- 7) 入院病棟（一般病棟/救命救急センター/ICU）
- 8) ステロイドの量、種類
- 9) 予防的に使用した向精神病薬
- 10) せん妄治療に使用した向精神病薬
- 11) 併用薬（睡眠薬・抗精神病薬）
- 12) 既往歴・並存疾患（神経疾患、脳血管疾患、糖尿病）
- 13) 認知機能
- 14) 要介護状態
- 15) 入院前住居（自宅/施設）
- 16) 退院先（自宅/転院/施設）
- 17) 最終生存確認日

4) 情報の保存

本研究に使用した情報は、研究結果の最終報告を行ってから 10 年間保存いたします。なお、保存した情報は本研究のみに用い、他の目的では使用しません。

5) 研究計画書の開示

あなたのご希望があれば、個人情報保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧することができますので、お申し出ください。

6) 研究成果の取り扱い

この研究の成果は、あなたのデータを個人情報にならない形にした上で、学会や論文で発表する予定ですのでご了解ください。

研究組織

研究責任者

島根大学医学部附属病院 呼吸器・化学療法内科 沖本 民生

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2025年6月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部附属病院 呼吸器・化学療法内科 沖本 民生

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2580 FAX 0853-20-2581